



# 医中誌CD-ROM

## 1. データ収録レンジと収録件数

医中誌CDは、冊子体医学中央雑誌（年36号発行）の内容をそっくりそのままCD-ROMに収録しています。ただし、冊子体は旬刊で発行されているので、そのペースではCD-ROMは発行できません。医中誌CDの発行サイクルは3カ月毎になります。VOL. 1には冊子体1号～9号のデータ、VOL. 2には1号～18号のデータ、VOL. 3には1号～27号のデータ、VOL. 4には1号～36号のデータが収録されてカレント版として発行されています（制作上の事故もありうるので、厳密には発行予定になります）。

冊子体は1903年に創刊されて以来、1983年にはCTS化され今日に至っています。医中誌CDは、このうちの1988年以降のデータを収録しています。また、1987年データも1994年にリリースする予定です。

収録レンジと収録件数は以下のようになります。

### Publication Year

1988年版ディスク	204,002件
1989 "	222,567件
1990 "	217,969件
1991 "	224,432件
1992 "	252,361件
1993 "	124,162件

注：1988年ディスクと呼んでいるディスクの西暦年は二次資料としての編集年であり、一次資料の発行年ではありません。

## 2. JMEDICINEとの関係

JMEDICINE（以下「JMED」と呼ぶ）は、JICST国

内医学文献ファイルと医中誌基本データベースファイルの2つのファイルをマージした国内医学文献データベースです。マージされる前の医中誌基本データベースの内容と医中誌CDの内容は同一です。マージされた後の医中誌基本データベースファイルと医中誌CDの内容はやや異なります。これは双方のファイルには文献の重複があるため、この重複を削除する結果によるものです。JMEDでは、重複文献が発生した場合は、医中誌分の文献が削除されます。

マージ前 医中誌基本データベース＝医中誌CD  
マージ後 医中誌基本データベース<医中誌CD

## JMED収録レンジと収録件数

1981年	—	27,173件
•		
•		
1988年	—	214,482件
1989年	—	230,334件
1990年	—	239,970件
1991年	—	234,363件
1992年	—	259,511件
1993年	—	176,734件

## 3. 医中誌CDスペック

(1)論理フォーマット ISO9660

(2)必要ハードウェア・ソフトウェア

### パソコン

\*NEC-9801シリーズ（VM21以降の機種、内部メモリーは要640K）

\*SONY Quarter L等のAX機

\*Macintosh Plus以降（1994年半ばリリース予定）

\*DOS/Vマシン (1994年半ばリリース予定)

Microsoft CD-ROM Extensionをサポートするもの

### CD-ROMドライブ

\*パイオニアCD-ROMチェンジャー  
(DRM-6000)

\*日立マルチドライブ、東芝、NEC各種ドライブ

### ソフト

\*MS-DOS Ver3.1

\*Microsoft CD-ROM Extension Ver2.1

\*FEP

## 医中誌CD-ROM

## Q & A

Q 1. 数年にわたって一度に検索ができるようにソフトを改善して欲しい。

A. これを可能にするためにはディスクとソフトの双方の作り直しが必要になります。しかし、現状のユーザー数および刊行会の経済的状況からは、容易に取り組めない問題です。

Q 2. 数年にわたって検索したい場合、検索式をその都度入力しなければならないのは不便である。

A. 次回バージョンアップでは、検索式の一次的保存およびフロッピーへの保存ができるように機能改善を行う予定です。

Q 3. プリントアウト時にMedlineのようにマークして該当文献のみを印刷できるようにして欲しい。

A. 次回バージョンアップでは、スクロールしながら必要な文献に印刷指定マークづけができるようにする予定です。

Q 4. 検索項目を一つ一つタブキーで切り替えるのは面倒である。

A. 次回バージョンアップでは、CTRL+Rで検索式エリアに切り替えられるようにする予定です。

Q 5. 日本語入力モードの切り替えが面倒。

A. FEPを組み込まなければならない日本語パソコンの宿命です。Mifes等のエディターでも同じ複雑さがあります。

Q 6. 日本語入力モードにした場合、ファンクション10(PF10)とバッティングする。

A. バッティングを避けるために、PF10以外のファンクションキーを検討しましたが、これに代わるキーが見つかりませんでした。

\*編集部注：これに関しては、参加者よりバッティングしないキーがあるという指摘があり、再度検討するということであった。

Q 7. 履歴検索の方法がわかりにくい。  
Ex. 半角にしなければならない、etc.

A. ソフトが検索式であると認識するための約束ごとが必要です。この約束が半角の数詞と半角スペースです。

Q 8. ファンクションキーとリターンキーを使う箇所がわかりにくい（混同しやすい）。

A. PF 2 で一覧画面をオープンして、検索キーをリターンキーで決定して論理和していくので、検索実行にはリターンキー以外のキーを使わざるを得ません。この場合に、検索実行キーをPF 1 にしています。

Q 9. CD交換の際のPF 1（登録）とPF 2（交換）の操作が紛らわしい。

A. 今後の検討課題にさせていただきます。

Q 10. 履歴検索の式がIMのCDと異なるので統一して欲しい。

A. 種々の理由で完全に真似ることはできません。

Q 11. シソーラス上のキーワード（統制語）に粗さがある。Ex. 白血病

A. 現在第3版シソーラスを改訂中です。

Q 12. キーワード検索の際、キーワードのさまざまな表記をすべて別々に検索し、論理和しなければいけないのは面倒である。

Ex. ページェット病、Paget病、  
Paget's disease、パージェット病、etc.

A. 統制語では一部の語が同義語リンクづけられています（AIDS→後天性免疫不全症候群）。これらの語については、TH検索では論理和をしないで済みます。ただし、同義語処理に漏れた語については論理和が必要です。この問題の解決のためには、同義語辞書の整備が必要です。

Q 13. キーワード充実化の要望→一文献にキーワードが2～3個しか付与されていない。また、看護関連のキーワードが少ない。

A. 年間25万件の文献を10人足らずのインデクサーで処理しているため、一文献へのキーワード付与に十分とれない状況です。看護関係のキーワード充実については、第3版シソーラスが脱稿してから内容確認後に検討したいと思います。

編集部注：医中誌CD-ROMに関する上記の記事は去る12月8日に開催された近畿病院図書室協議会第69回研修会において、講師の斎藤氏（医学中央雑誌刊行会電子出版課）が配布された資料の一部です。医中誌CD-ROM版の導入や利用の際の参考にして下さい。なお、医中誌CD-ROM Q & A は研修会に先だって会員より寄せられた医中誌CD-ROMに対する質問に刊行会電子出版課が回答したものです。